

(社) 日本原子力学会
第79回倫理委員会議事要旨

日 時 平成26年7月8日(火) 13:30~17:00
場 所 日本原子力学会 事務局会議室
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、宇奈手委員、関村委員、
辻委員、名倉委員、林委員、三村委員
柴田理事 (11名：委員名簿順)
オブザーバー：北村氏

配布資料

- 資料79-1 第78回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料79-2(1) 2014年秋の大会(9/8-10)企画セッション講演予稿(大場委員長)
- 資料79-2(2) 2014年秋の大会(9/8-10)企画セッション講演予稿(宮越副委員長)
- 資料79-2(3) 不適切な行動を科学的に分析する
- 資料79-2(4) 原則5-2. 原子力における安全文化醸成活動との関係
- 資料79-3 第7回理事会(平成26年5月28日)での倫理規程改定案に対するコメント
- 資料79-4 倫理規程改定案に関するコメント検討シート
- 資料79-5(1) 倫理委員会委員への立候補のお願い(近藤様)
- 資料79-5(2) 倫理委員会委員への立候補のお願い(大鷹様)
- 資料79-6(1) ホームページの現状について
- 資料79-6(2) 倫理規程の改定について(報告)

議事

1. 資料79-1により、前回議事要旨(案)を確認し、「倫理規程改定へのご意見者の氏名のホームページへの開示については、ご意見者本人の意思を確認し対応することとした。」に修正することで了承された。また、ご意見者への確認は、柴田理事、作田幹事が行うこととした。
2. 資料79-2(1)~(4)、6(2)により、2014年秋の大会企画セッション講演予稿および関連の内容について、宮越副委員長から説明があった。不適切な行動を科学的に分析することは重要であり、今後とも議論を継続していくこととした。特に、倫理とQMS活動、安全文化醸成活動との整理を念頭に置き、各委員が自由にアイデアを紹介することとした。
3. 資料79-3により、倫理規程改定案に対する理事会のコメントについて、大場委員長から紹介があった。学会誌への規程改定報告記事については、秋の大会企画セッションでの議論を含めるかも含めて、できる限り早期に掲載できるように大場委員長が編集理事と調整することとした。また、次回の倫理規程改定時に検討すべき点について確認した。
4. 資料79-4により、倫理規程改定案へのご意見者への回答案について、作田幹事から説明があった。回答案が確定できなかった文案に対しては、大場委員長から翌日中に案をメールにて発信し、各委員はコメントすることとした。
5. 資料79-5(1)(2)により、近藤氏と大鷹氏の倫理委員立候補のお願いについて、作田幹事から説明があり了承された。7月31日の理事会に柴田理事から報告することとした。

6. その他

- (1) 資料 79-6(1)により、倫理委員会ホームページの現状について、作田幹事から説明があった。現時点で「作成中」または「準備中」となっているページが6箇所あり、倫理規定関連については三役で案を検討することとした。学会全体としてもホームページの在り方を検討しているとの紹介があり、倫理委員会ホームページについても継続して内容を検討していくこととした。
- (2) 事例集などの作成について議論した。不適切事例だけでなく、成功・良好事例も含めることとした。また、事例の提供だけでなく判断や行動の幹となる考え方を併せて示すこととした。次回の委員会までに三役が中心となって、事例作成の方針、素案などを作成することとした。
- (3) 倫理委員就任の委嘱状が必要な委員は、作田幹事に必要な情報をメールにて連絡し、取りまとめの上、学会事務局に委嘱状の発行をお願いすることとした。

7. 次回倫理委員会の日程は H26 年 8 月 8 日(金)とし、場所は学会事務局会議室とした。

以上